

# Trimble Business Center Ver.5.90 アップデート概要

2023年5月

本書では、このバージョンの Trimble Business Center に含まれる国内業務に関する新機能を紹介します。Trimble Business Center の基本機能に関する新機能および改善内容につきましては、アプリケーションのリボンメニューより、サポート>リソース>リリースノート を参照してください。

## J-LandXML インポート/エクスポート

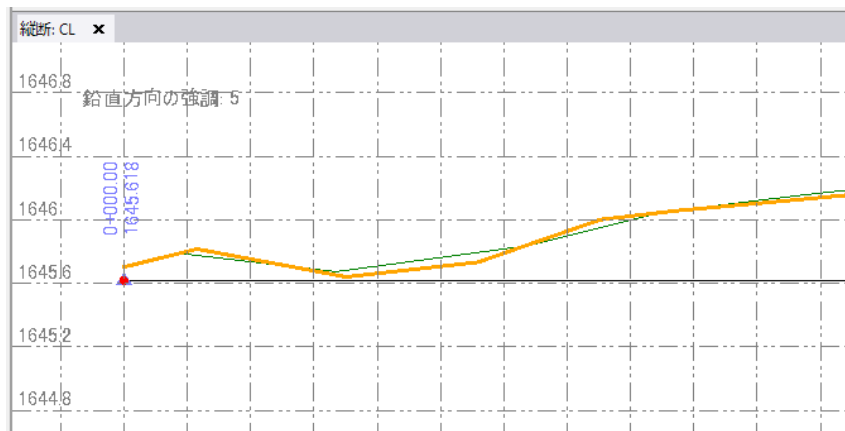
リボンメニュー>ホーム>データ交換>インポート/エクスポート

### 呼称の変更

「LandXML (三次元設計データ)」から「J-LandXML」に呼称を変更しました。

### 縦断地盤線の読み込み/書き出し対応

線形の縦断地盤線の読み込み/書き出しに対応しました。J-LandXML ファイルのインポートでは、ファイル内の縦断地盤線のデータを線形の縦断表示ビューの中にポリラインで登録します。



J-LandXML ファイルのエクスポートでは、縦断地盤線のデータは、出力対象として指定された線形と現況面から計算して出力します。出力対象として線形のみを指定し、現況面を指定しない場合は、線形の縦断表示ビューに登録されている名前付きのポリライン・ラインストリングを縦断地盤線として出力します。

#### インポート

縦断地盤線 → 縦断表示ビュー内にポリラインで読み込み

#### エクスポート

線形 + 現況面 → 線形に沿った現況面上の高度を出力

線形 → 縦断表示ビュー内の名前付きポリライン・ラインストリングを出力

## Ver.1.5 の読み込み／書き出し対応

J-LandXML Ver.1.5 ファイルの読み込み／書き出しに対応しました。Ver.1.5 で追加された線形の拡幅情報は、本バージョンで新しく追加した「線形拡幅編集」のマクロコマンドで、内容の確認および編集・登録できます。

## 線形拡幅編集マクロコマンド

リボンメニュー>ホーム>Macros>Alignment>線形拡幅編集

### 線形の拡幅情報を確認・登録

対象とする線形と左右を選択して、線形に登録されている拡幅情報を確認、または、新しく拡幅情報を登録できます。拡幅情報を含む J-LandXML ファイルをインポートした後に、本コマンドによりその情報を確認できます。また、本コマンドで登録した拡幅情報は、エクスポートコマンドの中の「J-LandXML エクスポートユーティリティ」を使用して、出力バージョンに 1.5 以上を指定することで、線形の情報と一緒に出力できます。

測点	拡幅量
0+00.00	0.00000
15+14.43	0.00000
20+04.43	0.25000
24+07.17	0.25000
27+19.17	0.00000
36+10.30	0.00000

測点・拡幅量入力:

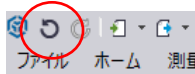
追加

閉じる

測点に対する拡幅情報を削除する場合は、列の右端の ✖ をクリックします。

測点と拡幅量（左右ともにプラスの値）を入力して「追加」をクリックすると拡幅情報を登録します。  
測点に対する拡幅量が登録済みの場合は、登録済み測点の拡幅量を変更します。

拡幅情報の削除や追加、変更を行うと、それらの操作は線形に対して即座に適用します。誤った操作を実行した場合は、クイックアクセスツールバー左上の「元に戻す」の機能により操作を取り消しできます。

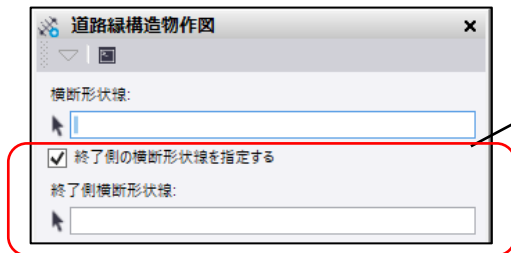


## 道路縁構造物作図マクロコマンド

リボンメニュー>ホーム>Macros>CAD>道路縁構造物作図

### 終了側の横断形状線の指定に対応

従来は、一つの横断面形状を三次元空間上に連続配置していましたが、本バージョンより、開始側と終了側の横断面形状線を指定できるようになりました。この機能を使用することで、開始から終了に向けて徐々にサイズが変化するような構造物形状を作図できます。



「終了側の横断形状線を指定する」にチェックを入れて終了側の横断形状線を選択します。

終了側の横断面形状を指定する際には以下の制限事項があります。

- 開始/終了側の横断面形状の頂点の数は同じである必要があります
- 直線で構成される横断面形状のみ利用可能です
- 配置基点は横断面形状のいずれかの頂点を指定する必要があります

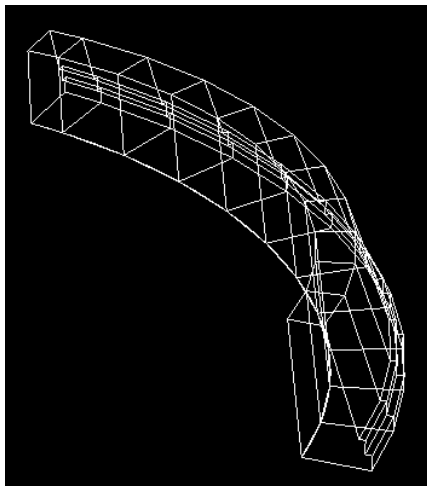
### 三次元モデルの作成

従来はワイヤーフレームで作図されていましたが、本バージョンより、三次元モデルで作図できるようになりました。



「3Dモデルオブジェクトを生成する」にチェックを入れると、三次元モデルで作図します。チェックがない場合は、ワイヤーフレームで作図します。

<3Dモデルオブジェクトを生成する-オフ>



<3Dモデルオブジェクトを生成する-オン>

